

地域医療支援病院業務報告書

令和5年10月5日

(申請先)
横浜市長

申請者 住 所 横浜市神奈川区西神奈川1-13-10

氏 名 社会福祉法人恩賜財団済生会
支部 神奈川県済生会
支部長 赤星 透

〔 法人の場合は、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名 〕

電 話 045-423-2301

標記の件について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和 4 年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川 1-13-10
氏 名	社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会 支部長 赤星 透

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 病院名

フリガナ	シヤカイフクシホウジンオンシザイダンサイセイカイシブカナガワケンサイセイカイヨコハマシトウブビョウイン
病院名	社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会横浜市東部病院

3 所在地

〒230-0012 横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話 :(045) 576-3000

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
50床	0床	0床	0床	512床	562床

5 施設の構造設備

施設名	施設概要
集中治療室	(主な設備) 病床数 <u>10床</u>
化学検査室	(主な設備) 生化学自動分析装置、全自動血球分析装置、血液凝固分析装置、 全自動尿分析装置、血液ガス分析装置、遠心分離機など
細菌検査室	(主な設備) 全自動同定感受性検査装置、全自動血液培養検査装置、顕微鏡、 結核菌遺伝子検査装置、高圧蒸気滅菌器など
病理検査室	(主な設備) 密閉式自動固定包埋装置、パラフィン包埋ブロック作製装置、 マイクローム、自動染色装置、凍結切片作製装置など
病理解剖室	(主な設備) 感染防止対策用解剖台、遺体冷蔵庫、床埋め込み式体重計、 解剖用無影灯、写真撮影装置など
研究室	(主な設備) シャーカステン、ホワイトボード、スクリーン、プロジェクター、パソコン、電子カルテ、机、椅子、な ど
講義室	<u>室数 1 室(2室に分割可)</u> <u>収容定員 220 人</u>
図書室	<u>室数 1 室</u> <u>蔵所数 3,000 冊程度</u> <u>雑誌</u> <u>誌</u>
救急用又は患者 搬送用自動車	(主な設備) ドクターカー、心臓病専用救急車(MCCU) <u>保有台数 2 台</u>
医薬品情報管理室	【専用室の場合】 <u>床面積 53.2m²</u>

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	<input type="checkbox"/> 紹介率80%を上回っている	
	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介率が65%を超え、かつ、逆紹介率が40%を超えること	
	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介率が50%を超え、かつ、逆紹介率が70%を超えること	
紹介率 ※患者数は延べ人数	①／②－(③＋④＋⑤)	75.0%
	①紹介患者数	15,811人
	②初診患者数	30,144人
	③地域公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数(初診に限る)	5,207人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数(初診に限る)	3,843人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数(初診に限る)	0人
逆紹介率 ※患者数は延べ人数	⑦／②－(③＋④＋⑤)	111.8%
	⑦逆紹介患者数	23,588人

救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

職種	人数	職種	人数	職種	人数
医師	260人	歯科医師	4人	看護師	713人
薬剤師	51人	臨床検査技師	53人	臨床工学技士	28人
診療放射線技師	45人	保健師	1人	看護補助者	43人

(注)非常勤医師等、常勤換算で記載すること。

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	24床
専用病床	24床

(注)一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救命救急センター	723㎡	天吊り型放射線装置、隔離室、救急専用エレベーター、超音波装置など	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
画像診断センター	995㎡	一般撮影装置、CT、MRI、X線テレビ装置、骨塩定量装置、ポータブル撮影装置など	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
検体検査室	207㎡	(主な設備)生化学自動分析装置、全自動血球分析装置、血液凝固分析装置、全自動尿分析装置、血液ガス分析装置、遠心分離機など	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
救命救急病棟	956㎡	ICU、CCU、SCU、クリーンルーム、ポータブル放射線装置、透析器、人工呼吸器など	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
手術室	1,927㎡	ダヴィンチ、Cアーム、腹腔鏡手術装置、バイオクリーンルーム、ナビゲーションシステム、超音波装置など	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>

4 備考

平成19年9月1日 救命救急センター指定

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。すでに、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績【(1)又は(2)のどちらかを選択し記入すること】

(1)救急患者数

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	0人
	(0人)
上記以外の救急患者の数	0人
	(0人)
合計	0人
	(0人)

※括弧内は、初診救急患者数

(2)救急医療圏(2次医療圏)人口における救急搬送者数割合

A：救急用又は患者輸送用自動車により搬送した救急患者の数	7,805人
B：救急医療圏(2次医療圏)人口※	3,768,363人
C： $A/B \times 1,000 > 2$	2.071191125

※2022年4月1日時点の人口

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	2台
---------------	----

地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

共同利用を行った医療機関の延べ数	83施設
そのうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	82施設
医療機器共同利用件数	1,208件
共同利用病床数	2床
共同利用に係る病床の病床利用率	94%

2 共同利用の施設・設備等

医療機器							
コンピューター断層撮影装置(CT)	<input checked="" type="checkbox"/>	磁気共鳴コンピューター断層撮影装置(MRI)	<input checked="" type="checkbox"/>				
陽電子診断装置(PET-CT)	<input type="checkbox"/>	直接撮影用エックス線装置	<input type="checkbox"/>				
核医学診断装置(RI)	<input checked="" type="checkbox"/>	乳房撮影用エックス線装置	<input type="checkbox"/>				
診療用高エネルギー放射線発生装置	<input type="checkbox"/>	骨密度測定装置	<input checked="" type="checkbox"/>				
ホルター心電図装置	<input type="checkbox"/>	消化管内視鏡検査装置	<input checked="" type="checkbox"/>				
頸動脈超音波装置	<input type="checkbox"/>	心臓超音波装置	<input type="checkbox"/>				
下肢静脈超音波装置	<input type="checkbox"/>	その他()	<input type="checkbox"/>				
手術室	<input type="checkbox"/>	病床	<input type="checkbox"/>	図書室	<input checked="" type="checkbox"/>	会議室・講義堂	<input type="checkbox"/>

(注)当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器機又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

共同利用に関する規定の有無

有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
---------------------------------------	----------------------------

(注)共同利用に関する規定がある場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

地域医療支援病院開設者との経営上の関係	有	2件
	無	587件

(注)当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

(注)承認要件－開設者と直接関係のない医療機関が現に共同利用を行っている全医療機関の5割以上であること。

地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修内容(研修会等名称、研修内容、開催日、参加医療機関数)

【別紙】参照

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	14回
(2) (1)の研修参加者数	382人

(注1) 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注2) (2)には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
(2) 研修委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
(3) 研修指導者数	0人	

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
多目的ホール(大)	260.81m ²	(主な設備)座席約 200人 スクリーン、マルチプロジェクター、卓上マイク、スピーカー、ワイヤレスマイク、パソコン、ホワイトボード、DVD・CD、録画カメラ、研修机、椅子 など
研究室1	41.59m ²	(主な設備)座席約 28人 シャーカステン、ホワイトボード、高精細モニター、スクリーン、プロジェクター、パソコン、電子カルテ、研修机、椅子 など
研究室2	71.20m ²	(主な設備)座席約 30人 シャーカステン、ホワイトボード、高精細モニター、スクリーン、プロジェクター、パソコン、電子カルテ、研修机、椅子 など
研究室3	91.80m ²	(主な設備)座席約 20人 シャーカステン、ホワイトボード、高精細モニター、スクリーン、プロジェクター、パソコン、電子カルテ、研修机、椅子 など

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者(役職名)		院長
管理担当者(役職名)		事務部長
保管場所		
診療に関する諸記録 (病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約)		診療情報管理室 (診療録等) 総務室 (病院日誌等)
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室
	救急医療の提供実績	医事企画室
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修実績	地域医療連携室
	閲覧実績	総務室
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績数を明らかにする帳簿	地域医療連携室

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者(役職名)	院長		
閲覧担当者(役職名)	外来支援室長		
閲覧の求めに応じる場所	外来支援室		
前年度の総閲覧件数			0件
閲覧者別	当該病院に患者を紹介しようとする	医師	0件
		歯科医師	0件
	地方公共団体		0件
	その他		0件

委員会の開催の実績

委員会の回数	1回
委員会における議論の概要	
済生会横浜市東部病院の実績報告 ・主な診療指標・紹介率・逆紹介率・転院実績(医療機関への転院)・救急統計・周術期等口腔機能関連算定件数・共同利用サービス実績件数・祝日平常診療日について・動画でわかる糖尿病患者さんの災害対策について	

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口 <input checked="" type="checkbox"/> 患者サポート室 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 「その他」記入欄 病室
主として患者相談を行った者(対応者)(複数回答可)	1 療養福祉相談室(ソーシャルワーカー) 2 退院調整室(看護師) 3 がん相談支援室(看護師、ソーシャルワーカー)
患者相談件数	30,928件
患者相談の概要	
1療養福祉相談室 (1)経済問題調整(2)医療費減免(3)受診問題調整(4)家族問題調整(5)入院依頼調整(6)他機関の利用調整(7)社会復帰調整(8)在宅療養調整(9)公的制度案内(10)その他 2退院調整室 (1)疾病に関する相談(2)日常生活に関する相談(3)在宅療養に関する相談(4)他機関からの相談(5)院内スタッフからの相談(6)その他 3がん相談支援室 (1)がんに関する相談(2)病状に関する相談(3)がんを患っている家族の相談(4)緩和ケアについての相談(5)その他	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類して記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が特定されないよう配慮すること。

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類(任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
評価を行った機関名、評価を受けた時期	(特非) 卒後臨床研修評価機構(令和5年8月1日付 更新) (公財) 日本医療機能評価機構(令和4年3月2日付 更新) (一財) 日本医療教育財団/外国人患者受入れ医療機関認証制度(令和3年9月21日)		

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
情報発信の方法、内容等の概要	広報推進室を中心に、医療機関向け及び地域住民向けに情報発信を行っている。 見やすさを心がけた自院ウェブページ、開業医向けの「連携たより」、一般市民向けの「Tobu Time」を媒体として広報活動を行っている。また、新聞、雑誌、TVなどのマスメディアへも情報提供を行い、幅広く発信を行っている。		

3 退院調整部門

退院調整部門の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
退院調整部門の概要	医療連携センター内に、療養福祉相談室、退院調整室、がん相談支援室を設置し、近隣病院、訪問看護ステーションなどとの調整業務を行っている。		

4 地域連携を促進するための取組み

地域連携クリティカルパスの策定		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
策定した地域連携クリティカルパスの種類、内容	脳卒中、大腿骨頸部骨折、糖尿病、下部尿路症状症候群/前立腺肥大症、大腸がん、胃がん、肺がん、肝がん、乳がん、前立腺がん、PSA高値などのパスを整備している。		
地域連携クリティカルパスを普及させるための取組			

済生会横浜市東部病院連携登録医制度運営規定

1. 目的

この規定は、済生会横浜市東部病院連携登録医（以下登録医という）が済生会横浜市東部病院の施設および医療機器等の共同利用を円滑に促進することを目的とする。

2. 登録の方法

登録医として申し込みを希望する医師は、病院所定の用紙（登録医書式－1）を以って登録医として登録することができる。

3. 共同利用の内容

登録医は済生会横浜市東部病院において以下の共同利用ができる。

- ① 紹介患者診療型共同利用
- ② 医療機器利用型共同利用
- ③ 研究部門利用型共同利用
- ④ 研修会参加型共同利用

4. 共同利用の受付・連絡調整等

本規定に定める共同利用に関する申し込みについては、地域医療連携室を窓口とし、登録医・関係部署との調整も地域医療連携室が担当する。

- ① 紹介患者診療型共同利用
 - (ア) 紹介患者に対する入院面会などの調整は、17時までに電話連絡をする。
 - (イ) 一階5番患者窓口まで来て頂いた連携登録医を、地域医療連携室スタッフが案内する
- ② 医療機器利用型共同利用
 - (ア) 利用日の予約を取るための、電話連絡をする。
 - (イ) 予約日確定後、所定の申込用紙をFAXする。
- ③ 研究部門利用型共同利用
 - (ア) 図書館など病院内の研究部門機能の利用の際には、17時までに電話連絡をする。
 - (イ) 一階5番患者窓口まで来て頂いた連携登録医を、地域医療連携室スタッフが案内する

5. 庶務

本規定の運用に関する庶務は地域医療連携室で行う。

6. その他

その他共同利用について必要な事項は地域医療連携室で協議し、済生会横浜市東部病院地域医療支援委員会に諮る。

この規定は平成20年2月1日より施行する

平成26年9月1日改訂

【別紙】研修会等開催実績

No.	開催日	研修会・症例検討会名称	内容	科名	参加人数
1	6月2日	第1回 緩和ケア研究会 (web)	症例検討会	緩和ケアチーム	23
2	6月17日	肺がんオンラインレクチャー (web)	講師を招聘しての講演会	呼吸器センター	20
3	7月6日	第5回 地域で支える心不全(web)	講師を招聘しての講演会	心臓血管センター	38
4	7月7日	第16回 横浜市東部小児連携の会 (web)	症例検討会	こどもセンター	39
5	7月7日	第122回 横浜市東部小児科医会 (web)	症例検討会	こどもセンター	39
6	9月15日	第143回 神奈川区鶴見区東部病院消化器勉強会 (web)	症例検討会	消化器センター	25
7	10月13日	第2回 緩和ケア研究会 (web)	講師を招聘しての講演会	緩和ケアチーム	43
8	11月17日	第141回 神奈川区鶴見区東部病院消化器勉強会 (web)	症例検討会	消化器センター	23
9	11月24日	第124回 横浜市東部小児科医会 (web)	症例検討会	こどもセンター	33
10	11月29日	第6回 地域で支える心不全 (web)	症例検討会	心臓血管センター	19
11	12月8日	第7回 神奈川東部骨粗鬆症連携の会 (web)	講師を招聘しての講演会	整形外科	21
12	2月20日	第45回 糖尿病カンファレンス (web)	講師を招聘しての講演会	糖尿病・内分泌内科	13
13	3月2日	第3回 緩和ケア研究会 (web)	症例検討会	緩和ケアチーム	28
14	3月20日	ARNI 高血圧 × 糖尿病 (web)	講師を招聘しての講演会	糖尿病・内分泌内科	18
15					
				人数計	382

※2023年3月31日 現在